

領域実践交流シート

石狩市立花川南中学校 加藤裕之 2015/7/9

見つけた課題	<p>校内における保護者負担軽減に向けたとりくみを赴任当時から行い、職員の理解を得て、徴収金額の減額が少しずつ図られてきた。</p> <p>そんな中、積算根拠や使用も曖昧であり、個人的にも気になっていた保護者徴収による「学年学級費（年間生徒一人180円）」を何とか全額公費負担にしたいと思い、以下の経緯でとりくみを行ってみた。</p>
課題解決に向けた行動の経過	<p>学年学級費は口座振替で徴収後、その扱いは各学年学級担当者に全て任せていた。支出内容は内々には聞いていたが、全額公費負担にすべく、昨年度、敢えて業務負担増を承知で、支払い、経理決算担当を行い、改めて内容を確認してみた。</p>
行動する上で見えたこと	<p>担当者から請求書、及び領収書などを回収し、内容を確認していくと、公費でまとめて購入した方が安価で済む、得点通知表封筒、ファイル、各学年学級独自の事務用品、活動費などが主な内容であった。担当者からよくよく話を聞くと、「購入など自由でやり易い面はあるけれど、共通したものは、教務なり事務で購入、配分し、担当（窓口一本化）してほしい」などの声があった。</p> <p>「学年のものは学年で・・・」など、従前の取り決めや慣例により、本校はそのように取り扱っていたようであるが、職員の入れ替わりと共に、意識も変わり、より効率的で効果的な方法を・・・と望む声も多くなっていた。</p> <p>その後、年度末反省で各々意見を述べてもらい、担当である各学年はもとより、教務部、生徒指導部のチーフと協議を重ねた。</p>
とりくみの結果、なにがどうなったか	<p>別紙の通り。「学年学級費」は廃止、全額公費負担とし、併せて新年度配分予算にて、「学級費（一律8千円）」という項目を設けた。</p> <p>生徒名札（Pケース）についても、現金徴収をやめ、公費負担化。</p> <p>また、保護者徴収による「生徒会費」で購入していた市販の「生徒手帳」についても見直しを図り、生徒指導部が主となって、「身分証明書」に変更、作成することにより、更なる減額（300円）に努めることができた。</p> <p style="text-align: center;">※生徒手帳に記載されていた内容は一部精選し印刷。 公費で購入、配布した生徒個人Fファイルにてとじ込み、学級保管。</p>
とりくみの感想など	<p>今回の決定に至るまで、全てがスムーズに行えたわけではない。</p> <p>現金都合や一部購入に係る公費購入での不自由さなどの意見もあり、不満も少なからずあった。数年経て、若しくは次年度、職員も入れ替わり、意識が変われば、また復活するかもしれない。しかし、論議過程の中で一番の収穫であったのは、指導の都合ばかりでなく、「保護者負担軽減」の意見を述べる職員が増えてきたことである。各職員においては、本校でのこのとりくみ、内容などを次校に生かしてもらえたら幸いである。</p> <p>当然、学校教育予算に携わる事務職員は、職員と十分に連携を図り、指導上の配慮は勿論の事、公費負担に即した校内予算の更なる検討を図らなければならない。</p> <p>最後に・・・理解ある、してもらった？本校職員に心より感謝！！</p>

領域実践交流シート（児童氏名印の公費負担の取組）

学校名【石狩市立花川南小学校】 記入者【品川龍平】 作成日【2014/7/25】

<p>見つけた課題</p>	<p>新1年生の氏名ゴム印の保護者負担から公費負担（市経理負担）とすること。石狩市連携会議で多くの小学校が公費負担をしているのを 2011（H23）年度赴任時より聞いていました。氏名印という物品の性格としても公費負担が望ましいと思いました。問題となる財源ですが、H23 年度末、H24 年度末の市経理残金から公費負担出来ると判断しましてH26 年度当初に向けて準備していきました。</p> <p>又、もう一つの公費負担するべきだと思った理由は名字変わり（離婚等）や転入での購入（サイズが合わない等）が何件もあり、なかなか私費負担での理解が得られにくく、公費で購入する場合も出てきてました。入学時での私費購入と中途購入との整合性がなくなって来たことも児童氏名印公費負担をしようと思った理由です。</p>
<p>課題解決に向けた行動の経過</p>	<p>新1年生関係の提案が教務部より 10 月職員会議に提案される。その中で入学時に購入される学用品の内訳や単価等の説明がなされる。従ってそれ以前に担当者へ氏名ゴム印を公費負担へと変更するよう伝えた方がスムーズに行くということは前年度（H24 年度）より考えていました。職員会議では特に意見はでなかった。</p>
<p>行動する上でみえたこと。</p>	<p>公費負担するということは財源が必要で、どの程度の負担となるかを計算する必要があります。それ以前はA社 1 個 160 円（税込）の氏名ゴム印を使っていたが、石狩市学校間連携会議の調査で 1 個 120 円（税込）で購入している学校があることがわかり、その業者名を聞いてB社へ単価を聞いてみたところ 1 個 120 円であった。よって安価な業者への発注することとしました。又、本校の新1年生児童数はここ数年 100 名弱といったところなので 12,000 円程度の財源が必要となります。</p> <p>これには市経理での余裕さ加減が必要だが、H23 年度・24 年度での印象では出来ると判断しました。</p>
<p>とりくみの結果何がどうなったか</p>	<p>目的どおり新1年生の氏名ゴム印の保護者負担から公費負担（市経理負担）となったが、職員会議では保護者負担には触れられなかったため教員への啓蒙という面では不十分であった。</p>
<p>とりくみの感想など</p>	<p>市経理の負担金額も増え・仕事も増えるというのは避けたいところです。今まで氏名印の発注は教務担当者であったので、印影の作成・発注などは引き続き担当者で責任をもって行ってもらい、支払いだけは事務でやりますというスタンスがよいと思います。チェックや発注時期の指示などはこちらで行う様にしたら良いと思います。</p>